

【学校教育目標】「確かな学力 豊かな心 健やかな体」  
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校 伊岐 No. 19  
令和 8 年 9 月 16 日 発行  
文責 校長 梶原 康裕

キラ ・ ニコ ・ ドン ・ パツ



キラキラ輝く子ども ニコニコ笑顔の子ども ドンドン挑戦する子ども パッと行動する子ども

## なんでまた??

朝の挨拶運動で、校門の下に立っていました。伊岐佐上方面から来る一団の1年生が「カニがいる〜!」と言って、カニを捕まえようとしていました。1年生の子供が手を伸ばすと威嚇ポーズ。6年生が「ここをつかむとよ」と教えて上げ、無事に捕獲。かぶっていた帽子に入れて持っていきました。1学期は運動場でサワガニを見つけました。近くに川は流れていますが、どうしてこんなところに??

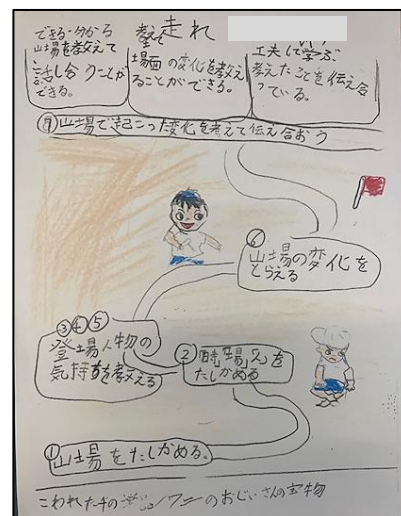


興味津々

## いろいろな学び方があります

授業の中で、子供がいきいきと主体的に取り組めるよう、授業の中で「ラーニング・マウンテン」という手法を取り入れています。ラーニング・マウンテンとは、大妻女子大学の樺山敏郎教授が提唱する学習法です。唐津市内の小中学校でも実践されています。

その名の通り、子供の学びを「山登り」に見立てて一枚のシートに可視化します。登山の前に「どんな景色が見たいか（目指すゴール）」を確認するように、まず子どもたち自身で単元の全体像や最終目標（学習課題）を把握します。そこから「どんな力（知識・考える力・粘り強さ）を身につけるか」を理解したうえで、自分の現在地やこれからのステップを確認しながら山を登っていきます。この取り組みの大きな目的は、子ども自身が「何のために、何を学ぶのか」を捉え、自分のペースで学習を調整する「自己調整力」を育てることです。単に与えられた課題をこなすのではなく、「自分ごとの学び」としてゴールを目指すことで、達成感や自信につながります。子供さんが学校でどんな「山」に挑戦しているのか、話題にしてみてください。



## 想像以上の演奏でした

「えふくれふ」さんのご厚意で、相知小、エルアン、伊岐佐小の子供たちを招待していただきました。子供たちが知っている曲が盛りだくさんで、途中から立って踊って歌っての盛り上がり。あっという間の1時間でした。コンサートのチラシをご覧ください。演奏家の経歴を見てビックリ! プロの音やアレンジは見事の一言。週明けに「土曜日も行ってきたよ!」と言ってきた子供が何人かいました。



お礼の言葉



歌って踊って♪